

日本国際連合学会第16回（2014年度）研究大会プログラム

日時：2014年6月28日（土）－29日（日）

会場：北九州市立大学北方キャンパス 本館C棟3階 C-301教室
〒802-8577 北九州市小倉南区北方4丁目2番1号

第1日

10:00～ 受付

10:30～10:40 開会挨拶 大泉 敬子（日本国際連合学会理事長）

10:45～12:45 ≪北九州市立大学・教育プログラムとの連携セッション≫

国連と日本・日本人

司会 星野 俊也（大阪大学大学院・教授）

講演 星野 幸代（国連ハビタット福岡本部（アジア太平洋地域）・本部長補佐官）
「国連を通じた日本の貢献」

講演 弓削 昭子（法政大学・教授）
「国連機関におけるキャリア・パス－現場と本部」

（連携セッションに限り、傍聴無料）

12:45～15:00 昼休み

13:00～14:45 理事会（本館4階 B-403教室）

統一テーマ：多角的視点から考える国連研究の可能性

15:00～16:30 ≪セッション1≫歴史の中の国連システム

司会・討論 山田 哲也（南山大学・教授）

報 告 安田 佳代（関西外国語大学・専任講師）
「世界保健機関設立過程の歴史的検討—主要連合国と専門家の役割を中心に—」

報 告 瀬岡 直（日本学術振興会特別研究員（PD））
「国際連合における拒否権の意義と限界—拒否権制限の『指針』作成への試み—」

16:40～17:10 総会

17:30～20:00 懇親会（於：学生交流スペース(White House)）

第2日

9:30～ 受付

10:00～12:10 《セッション2》シリア情勢と国連

- 司会・討論 勝間 靖（早稲田大学大学院・教授）
- 報 告 小副川 琢（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・研究機関研究員）
「シリア内戦と地域情勢」
- 報 告 三上 陽一（外務省中東アフリカ局中東第一課・地域調整官）
「オバマ政権における中東介入：リビアとシリアの事例比較」
- 報 告 山下 光（防衛省防衛研究所・主任研究官）
「保護責任論（RtoP）の現在 — シリア危機をめぐる議論との関係において」

12:15～13:15 昼休み

13:15～15:15 《セッション3》若手独立報告

- 司会・討論 望月 康恵（関西学院大学・教授）
- 報 告 佐俣 紀仁（東北大学・助教）
「国際組織のアカウンタビリティ」をめぐる国際法理論上の諸問題—国際開発金融機関（MDBs）における「アカウンタビリティ・メカニズム」を素材に—
- 報 告 津崎 直人（関西学院大学・講師）
「冷戦後の国連総会における核軍縮議論—日本、非同盟運動諸国、新アジェンダ連合提出核軍縮決議の比較検討（1994 - 2013年）—」
- 報 告 番定 賢治（東京大学大学院）
「国際連盟における「法による平和」と日本外交—常設国際司法裁判所への応訴義務受諾と仲裁裁判条約締結への取り組み—」

15:30～ 企画委員会（本館3階 B-304 教室）
編集委員会（本館3階 B-302 教室）

会員以外の傍聴を受け付けます。傍聴費は、連携セッションを除く2日間で1000円です。1日のみの傍聴でも同額です。事前申し込みの必要はありません。当日受付でお支払いください。